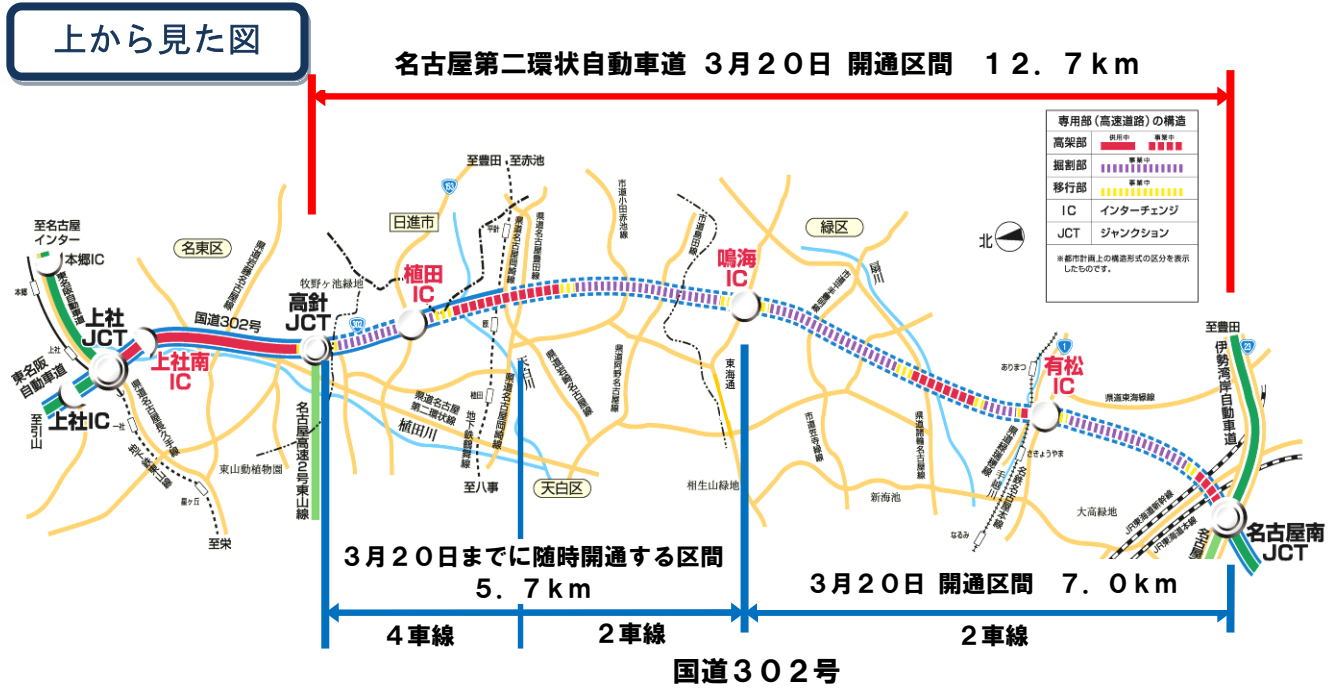
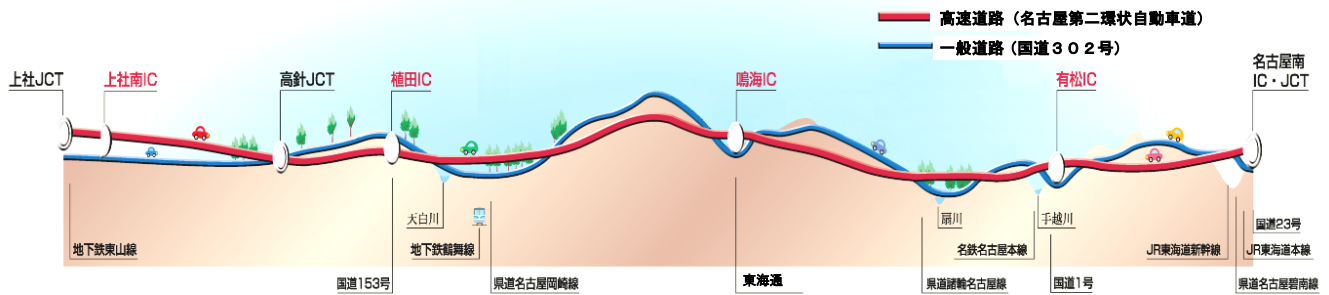


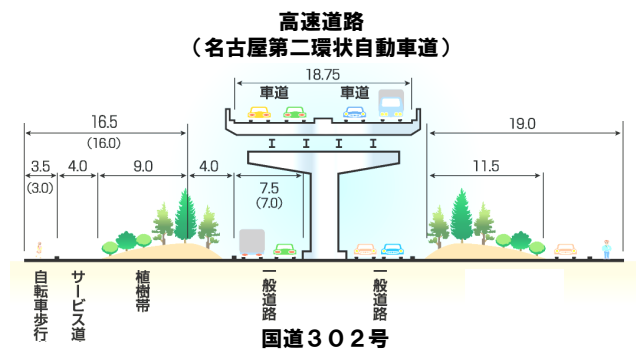
◆ 開通区間の詳細



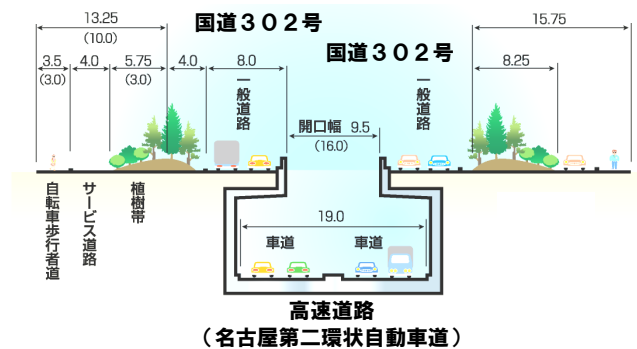
横から見た図 (地形と道路)



正面から見た図 (標準)



高架部 (単位:m)



掘割部 (単位:m)

〔名古屋第二環状自動車道(名古屋南JCT～高針JCT)〕

1. 開通日時

2011年3月20日（日） 15時00分

2. 開通区間の概要

名古屋第二環状自動車道 名古屋南JCT～高針JCT 愛知県名古屋市緑区大高町から同市名東区猪高町までの区間		
開通延長	12.7km	
本線車線数	4車線（上下線 各2車線）	
インターチェンジ	有松（ありまつ）IC 鳴海（なるみ）IC 植田（うえだ）IC ※上社南（かみやしろみなみ）IC	名古屋市緑区大高町 名古屋市緑区黒沢台 名古屋市天白区梅が丘 名古屋市名東区上社

※上社南ICは、既に開通している高針JCTと上社JCTの間に設置され、名古屋南JCT方面との出入りが可能となります。

3. 開通区間の特徴

名古屋第二環状自動車道は、伊勢湾岸自動車道の開通、セントレア（中部国際空港）の開港などにより、増大した名古屋市内に集中する都市内交通を適切に分散するバイパスの役割を果たし、名古屋都市圏周辺の交通混雑の緩和、社会活動の発展などに寄与するものと期待されています。

今回開通する名古屋南JCT～高針JCT間12.7kmのうち、3.7kmが高架構造、7.0kmが掘割構造、2.0kmが高架と掘割との移行区間である擁壁構造となっています。

また、地球温暖化抑制への取り組みの一環として、掘割区間の一部5.7kmの区間に累計14,000㎡の太陽光パネル（約1万枚）を設置し、この区間で消費する電力量の約4割を賅うこととしています。これにより、年間約925tのCO2の排出を削減する見込みです。

4. 道路名称の変更に伴う標識等の表示

名古屋南JCT～高針JCT間の開通と合わせて、現在営業中の東名阪自動車道の一部区間（名古屋西JCT～名古屋IC・高針JCT間）の道路名称を「名古屋第二環状自動車道」に変更します。

名古屋第二環状自動車道を案内する標識（市街地標識を含む）、道路情報板に表記する道路名称は、ご利用されるお客さまの判読のしやすさを考慮し、以下の略称を表示します。

道路名称	標識等の表示
名古屋第二環状自動車道 (なごやだいにかんじょうじどうしゃどう) NAGOYA-DAINI-KANJO EXPRESSWAY	名二環 (めいにかん) MEI-NIKAN EXPWY

5. 通行料金

名古屋第二環状自動車道の料金については、距離に応じた料金とします。例えばETC車（普通車）については、名古屋第二環状自動車道の利用距離が30km未満（既に開通している名古屋西JCT～高針JCT間：29.6kmと同程度）の場合は500円、30km以上の場合は600円となります。また、現金車等（普通車）については、入口からの名古屋第二環状自動車道の利用可能な距離が30km未満の場合は500円、30km以上の場合は600円を入口料金所でいただきます。具体的には別添－4をご参照下さい。

※ なお、開通に合わせてETC普及促進キャンペーンを実施する予定です。詳細はHP等で後日お知らせいたします。

〔国道302号(名古屋市緑区大高町～名古屋市名東区高針)〕

1. 開通区間及び開通日

〔2011年3月20日（日）開通〕

- ・名古屋市緑区大高町～緑区黒沢台（国道23号～東海通）

延長：約7.0km 2車線（上下線 各1車線）

〔2011年3月20日までに随時開通〕 ※交差点工事等の車線切替にあわせ随時開通します。

- ・名古屋市緑区黒沢台～天白区平針（東海通～主要地方道名古屋岡崎線）

延長：約3.1km 2車線（上下線 各1車線）

- ・名古屋市天白区平針～名東区高針（主要地方道名古屋岡崎線～高針JCT）

延長：約2.6km 4車線（上下線 各2車線）

2. 路線の概要

国道302号は、名古屋環状2号線の一般道路部にあたります。

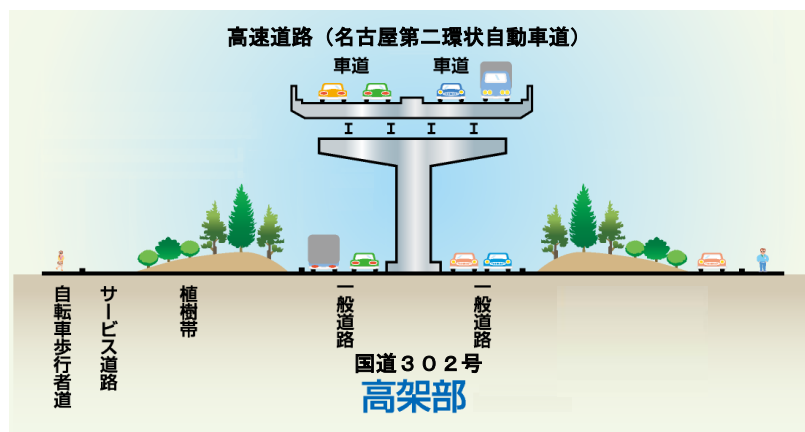
特に、今回開通する区間は、南北方向を結ぶ道路が少なく交通混雑が著しい地域に、南北を結ぶ強い交通軸をつくることで、地域全体の交通混雑の緩和が期待されています。

また、名古屋第二環状自動車道と一体となった環境施設帯、遮音壁の設置、低騒音舗装を採用するなど、沿道の良い生活環境との調和にも配慮しています。

今回、2車線で開通する区間も、引き続き4車線化工事を進めるとともに、全区間のサービス道路・歩道・遮音壁・植栽など残る工事を進め、早期完成を目指します。

【参考：名古屋環状2号線とは】

名古屋環状2号線とは、名古屋市の外周部を通り、名古屋市を中心に放射状に伸びる幹線道路や名古屋高速道路を主要地点で連結し、名古屋都市圏をネットワークする延長約66kmの主要幹線道路であり、高速道路（名古屋第二環状自動車道（現 東名阪自動車道））と一般道路（国道302号）を併設する構造になっています。高速道路（名古屋第二環状自動車道）は、現在までに東名高速道路と連絡する名古屋ICから東名阪自動車道と接続する名古屋西JCT、上社JCTから高針JCTの約30kmが開通しています。



高速道路（名古屋第二環状自動車道）



一般道路（国道302号）



高速道路（名古屋第二環状自動車道）と一般道路（国道302号）をあわせて名古屋環状2号線と呼んでいます。